

一勝地小だより

第3号
R4.7.21発行
文責：梅本 和高

<https://es.higo.ed.jp/ishouchi/>



思いやりで一人一人が輝く一勝地小

「思いやり」をキーワードに一点突破で取り組んできた1学期も今日までとなりました。子供達も職員も常に「思いやり」を意識しながら過ごしてきました。

教室には、「思いやりの木」が掲示され、思いやりのある行動について振り返っています。また、校長室前にも、「広げよう思いやりの心」コーナーがあります。学校生活の中で優しくしてもらったことやうれしかったことが書かれています。日々、付箋が増えているのを見ると心が温かくなります。

この他にも、朝の活動の時間に行うソーシャルスキルトレーニングで、対人場面において、相手に適切に対応できる技術を学んだり、学級活動での話し合い活動で、様々な意見に折り合いを付けて上手くまとめていったりすることで、お互いを大切にする事ができるような取組を行っています。

今後は、思いやりの輪をもっともっと広げて、地域への貢献もしていきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様、今後とも子供達を温かく見守ってください。



授業参観 お世話になりました

7月1日に、1学期末の授業参観と学級懇談会を行いました。たくさんの保護者の方に参加いただきありがとうございました。

懇談会では、担任とじっくり話ができただでしょうか。担任からは、1学期の子供達の様子、夏休みの生活について話があったと思います。時間が限られており、一人一人の様子まで意見を交わすことは難しかったかも知れません。懇談会に限らず、何か相談事がありましたら、学校に御連絡ください。



また、その後はPTA主催の救急救命法の講習会、校舎周りや運動場の美化作業と暑い中、過密スケジュールになってしまい申し訳ありませんでした。美化作業では、見違えるように学校がきれいになりました。ありがとうございました。

令和6年度義務教育学校開校に向けて

義務教育学校では、小学校と中学校の組織が1つとなり、小学校6年間、中学校3年間という考え方にとらわれことなく、新しい形で、特色ある教育に取り組んでいきます。

7月6日には、石の交流館やまなみで、第1回球磨村立義務教育学校開校準備委員会が開催されました。球磨村議会、球磨村役場、各地区長、教育委員会、学校関係者が委員となっています。

また、下部組織として、総務部会、通学部会、教育課程部会、PTA部会、事務部会があり、各部会で、学校名や校訓、学校行事、開校記念事業等様々な事項を調査・協議していきます。

開校準備と併せて、一勝地小学校の閉校準備に取り組む必要があります。地域に見守っていただいた一勝地小学校の歴史を閉じることは、大変重要なことと認識しています。こちらは、一勝地小学校で閉校準備委員会を立ち上げていきます。保護者の皆様、地域の皆様としっかり相談しながら進めていきますので、御協力よろしく申し上げます。

協力して作った七夕飾り

7月7日の昼休みに、一勝地小学校の環境運営委員会主催で「七夕フェスティバル」が行われました。一人一人が自分の願いを短冊に書いて飾り付けました。七夕飾りも縦割り班で協力しながら飾り付けました。他の学年の友達とも楽しく話をしていました。

完成した作品は、児童玄関に飾ってありますので、学校に来られたときは、御覧ください。



今、私達ができること

総合的な学習の時間では、令和2年7月豪雨災害を受けて、防災教育を中心に学習を進めています。その学習の一環として、3・4年生は、神瀬地区に出向き、災害が起きた当時の様子について話を聞いてきました。被害の大きさを改めて学ぶとともに、前を向いて頑張っておられる地域の方の様子も知ることができました。

今回の見学をきっかけとして、一勝地小学校として、今できることを考えていきたいと思っています。



「十秒の愛」

子どもは忙しい時にかぎってよく声をかけてきます。たとえば、夕食の支度に忙しいときに「おかあさん。おかあさん。って近づいてきたらどうしましょう。そんな時は、たった十秒でもいいのです。支度している手を止めて「ごめんね、今、手が離せないのだからとでゆっくり聞くん」と言って十秒間だけしっかりと抱きしめてあげてください。きっと笑顔で子どもは待ってくれますから・・・（以下略）

たかが十秒、されど十秒です。子どもが育つ「十秒の魔法」なのです。

出典 西宮市・西宮市教育委員会 仲島正教
『優しさという名のヒラミン愛』